

「技術士」が将来の夢の一つとなることを目指して 「技術士を知ろう！小学校編」

1. はじめに

青年技術士交流委員会では、「技術士を知ろう！小学校編」と題して、小学生に「技術士」という資格、仕事内容について知ってもらうことを目的とした出前講座を実施しました。

2. 実施概要

本活動は、「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)と連携して実施しました。従来から実施している工学系の大学、高等専門学校、工業高校の学生を対象とした出前講座「技術士を知ろう！」を小学校でも実施してみたい！という思いに至ったことからスタートしました。

対象が小学生のため、説明の中に身近な構造物を取り上げてイメージしやすくしたり、話を聞くだけでなく、実習体験により自ら手を動かして想像力を働かせたりすることで、「技術士」の資格、仕事内容についてわかりやすく楽しみながら知ることができるように、講座内容を工夫しました。

●対象：桑園小学校 6 年生

●日時：2023 年 11 月 9 日(木)

第 1 部(8:45～10:20)

2 組、4 組…約 75 名

第 2 部(10:45～12:20)

1 組、3 組…約 70 名

●講座内容：

①技術士のお仕事紹介

②実習体験「丈夫な橋をつくろう！」

③技術士との座談会

3. 講座内容

(1) 技術士のお仕事紹介

はじめに、技術士のお仕事紹介として「技術士」にはどのような種類があり、どのような場面で活躍しているのかについて児童に発表を行いました。

町の様子を表す絵の中で「技術士」がどのような仕事をしているかについて、“安全・安心な交通づくり” “町の骨組みづくり・町の環境、文化を守る” “災害から町を守る” など、“暮らしの全て”をつくり、守ることが「技術士」の仕事であり、幅広い分野で活躍していることを説明しました。



写真-1 「技術士」について真剣に聞く児童たち

(2) 実習体験「丈夫な橋をつくろう！」

「技術士」の仕事について実際に体験してもらうため、丈夫な橋をつくるという実習体験を実施しました。

橋桁の材料として長方形にカットしたメラミンスポンジを 2 つ、橋の補強材料としてビニールテープ・輪ゴム・竹串、橋台の材料としてプラスチックカップを 2 つ、を各グループに配布し、丈夫な橋を自由につくってもらいました。

橋の完成後は木の重りを載せ、つくった橋がどの

くらい丈夫なのか確認するとともに、どの部分で壊れ、どこに補強が必要かなど、スタッフからアドバイスを得ながら、より丈夫な橋をつくってもらいました。

また、丈夫な橋を作ったグループには「どのような工夫をしたのか？」について児童に発表してもらい、工夫したアイデアを全体に共有する機会を用意しました。



写真-2 つくった橋の耐荷重を確認



写真-3 つくった橋について発表

(3) 技術士・技術士補・修習技術者との座談会

実習体験終了後は、参加した技術士5名、技術士補3名、修習技術者1名に対して、児童から「働くこと」に関するインタビューを受けました。

「どうして技術士になろうと思いましたか?」、「どのようなことを考えて仕事をしていますか?」、「仕事のやりがいや楽しいことは何ですか?」など、児童から多くの積極的な質問がありました。

スタッフも多くの質問に対して回答しながら、自身の仕事に対して考えていることを改めて振り返る良い機会になったのではないかと思います。



写真-4 座談会で質問に回答するスタッフ

4. おわりに

最後に講座の全体を通して、児童から感想を発表してもらいました。感想の中には「将来技術士になってみたい」、「技術士がどんな仕事をしているのかイメージすることができた!」などと話してくれた子が複数いました。また、インタビューを通じ、子供たちが「働く」ということについて、子供たちなりに考えをまとめたポスターを作成してくれたことから、「技術士という資格を介して働くことを学んでもらう」という今回の出前講座の目的を、十分に達成することができたと思います。

本活動は、児童たちが今後自分の将来の夢を考える中で、「技術士」の存在や仕事内容を少しでも知ってもらうことにより、「技術士になる」ということを一つの選択肢と捉えてもらう機会を作り、将来の技術士を増やしていく上で非常に有意義なものだと感じました。

また、「技術士」になってみたい!と思ってもらうために、現役の「技術士」たちがアイデアを振り絞って、魅力を伝えていく良い機会となりました。

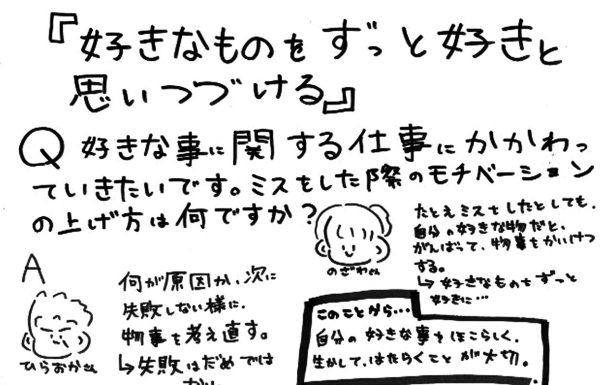


写真-5 技術士ポスター：桑園小学校作成